



SMART TUNE PROオートマチックチューニングモジュール(ATM)キット

概略

キット番号

41000445、41000445A

適合モデル

最新の承認済み適合モデルに関する情報は、www.harley-davidson.com (英語のみ)の「パーツとアクセサリ」セクションをご覧ください。

取り付け要件

最新版の取扱説明書については<https://serviceinfo.harley-davidson.com>にアクセスしてください。

これらのアイテムは、ハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店で入手いただけます。

- この取り付けには、Screamin' Eagle Pro Street チューナー (部品番号4100008C)、あるいはScreamin' Eagle Bluetooth Pro Street チューナー (部品番号41001141または41001141A)を別途購入する必要があります。
- Screamin' Eagle Pro Street チューナー (部品番号4100008C)の取り付けには、Screamin' Eagle チューナーケーブルキット (部品番号41000018)が必要です。
- 2023年式以降のFLHXSE、FLTRXSE、2024年式以降のFLHX、FLTRX、FLTRXSTSE、2025年式以降のFLHXU: 取り付けには、エキゾースト02センサー(ワイドバンド02)バングドリルキット(部品番号14900150)の別途購入が必要です。
- 2023年式以降のFLHXSE、FLTRXSE、2024年式以降のFLHX、FLTRX、FLTRXSTSE、2025年式以降のFLHXU: 取り付けには、エキゾースト02センサー(ワイドバンド02)バングドリルアンドタップツールキット(部品番号14900105)の別途購入が必要です。
- 2017-2025年式 Touringモデル(2023年式以降のFLHXSE、FLTRXSE、2024年式以降のFLHX、FLTRX、FLTRXSTSE、2025年式 FLHXUを除く): 取り付けには、エキゾースト02センサーバングドリルアンドタップツールキット(部品番号14900105)の別途購入が必要です。Screamin' Eagleハイフローエキゾーストシステム(ストリートキャノンマフラー付き)(部品番号64800059または64800062)もオプションで別途購入可能です。
- 2017年式以降のTrikeモデル: 取り付けには、エキゾースト02センサーバングドリルアンドタップツールキット(部品番号14900105)の別途購入が必要です。Screamin' Eagleハイフローエキゾーストシステム(ストリートキャノンマフラー付き)(部品番号64800059または64800062)もオプションで別途購入可能です。
- 2014-2016年式Touringモデル: 取り付けには、Screamin' Eagleハイフローエキゾーストシステム(ストリートキャノンマフラー付き)(部品番号64800043または64800044)の別途購入が必要です。

- 2018年式以降のSofttailモデル: この取り付けには、ワイドバンド02センサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201830)の別途購入が必要です。
- 2016-2017年式 Softtailモデル: 取り付けには、ハーレーダビッドソンヘッドパイプアッセンブリーの別途購入が必要です。表1
- 2016-2017年式 Softtailモデル: 取り付けには、ワイドバンド02センサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201704)の別途購入が必要です。
- 2016-2017年式 Dyna Low Rider S (FXDLS) モデル: 取り付けには、ハーレーダビッドソンヘッドパイプアッセンブリー(部品番号66884-09A)の別途購入が必要です。
- 2016-2017年式 Dyna Low Rider S (FXDLS) モデル: 取り付けには、ワイドバンド02センサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201704)の別途購入が必要です。
- 2014年以降のSportsterモデル: この取り付けには、ワイドバンド02センサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201830)の別途購入が必要です。
- 2014年以降のSportsterモデル: 取り付けには、他社製の18 x 1.5 mmエキゾーストバングの別途購入が必要です。エキゾーストバングは専門家が取り付ける必要があります。

表1。Softtailヘッドパイプ

モデル	ハーレーダビッドソン部品番号
FLSTF、FLSTFB、FLSTFBS	66779-07A
FLS、FLSS、FLSTN	65300-07A
FLSTC	66780-07、66781-07
FXSB	66780-07、66795-08

表2。オキシジェンセンサーバングの仕様

オキシジェンセンサーバングの要件	
最小バング長さ:	長さ: 9 mm (0.360 in)
最大バング長さ:	長さ: 13 mm (0.500 in)
バングの材質:	300系ステンレススチール
バングのねじピッチ:	M18x1.5
エキゾーストパイプへのセンサーの突起部	長さ: 13 mm (0.500 in)
取り付け時の注意事項:	
専門家による取り付けが必要です。表面状態を適切に準備してください。バングを十分に溶接し、オイル漏れがないようにしてください。同範囲内で動作する際に、測定されたワイドバンドAFRの値が工場のセンサーと相関するようにワイドバンドセンサーはできるだけ既装着のセンサーの近くに配置してください。センサーの間に隙間があり、ワイヤーがエキゾーストに触れないようにバングを配置します。車両を垂直にした際に、センサーはほぼ水平になる必要がありますが、水滴による損傷リスクを軽減するためにセンサーの先端は下に向けて取り付けてください。エキゾースト内で結露が生じると、センサーが損傷する恐れがあります。	

▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

このキットに含まれている製品情報ラベルは、2014年以降の全Touringモデル、2016年以降のSoftailモデル、2016年以降のDyna FXDLSモデル、2014年以降のSportsterモデルの各モデル全てに対してカリフォルニア大気資源委員会 (CARB) が求めている要件の1つです。フレーム右側のVINステッカーの真下にラベルを貼ってください。カリフォルニア州以外ではこのラベルは不要です。

ECMの再調整

注記

このキットを取り付ける際には必ずECM(電子制御モジュール)を再調整する必要があります。ECMの再調整が適切に行われないと、エンジンに深刻なダメージを与えるおそれがあります。(00399b)

キット内容:

「図52」および「表5」を参照してください。

▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00308b)

取り付け

TouringワイドバンドO2センサー

表3. 対象車両

年	モデル
2023年以降	FLHXSE、FLTRXSE
2024年以降	FLHX、FLTRX、FLTRXSTSE
2025年以降	FLHXU

1. サドルバッグを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. シートを外します。サービスマニュアルを参照してください。
4. バッテリーを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

5. 右フロントフットボードとブラケットをフレームから取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

6. 「図1」を参照。前後のO2センサーコネクター(1、2)を外します。

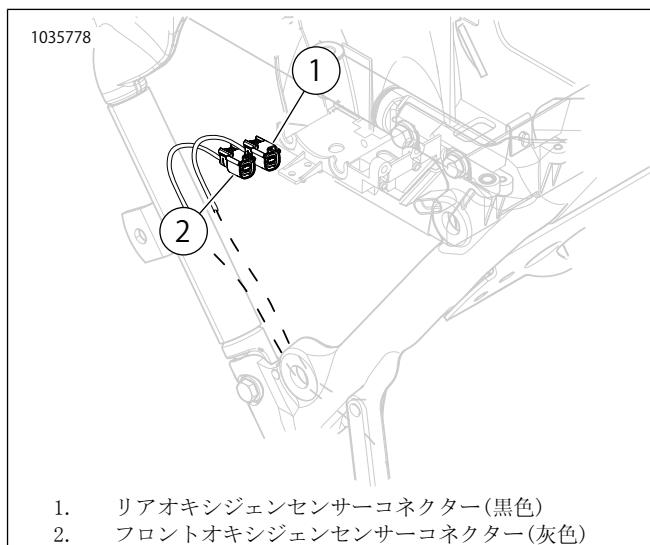


図1. フロントおよびリアのオキシジェンセンサーの位置

7. エキゾーストシステムを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
8. エキゾーストパイプ:
 - a. 2023年式以降のFLHXSE、FLTRXSE、2024年式以降のFLHX、FLTRX、FLTRXSTSE、2025年式以降のFLHXUモデル: エキゾーストパイプのリワークを行ってください。エキゾーストオキシジェンセンサーバンドリルアンドタップツールキット(部品番号14900150および14900105)を使用して手順を完了します。両方のキットが必要です。取り付け要件

注記

- 落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けしないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。
- 交換用センサーアセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズブルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。
- 電装コネクターは清潔で、誘電グリースが付着していない状態であればなりません。

「図2」、「図52」、「表5」を参照してください。ワイドバンドO2センサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)



図2。オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

10. 注記

ワイドバンドセンサートレインガイドがトランスミッションカバーに接触しても構いません。

O2センサーボディとトランスミッションカバーが接触する場合は、ミッドフレームエキゾーストクランプの下にワッシャーを2~3枚かスペーサーを1枚、挟み込んでください。スペーサーの厚みは0.200インチまで許容できます。

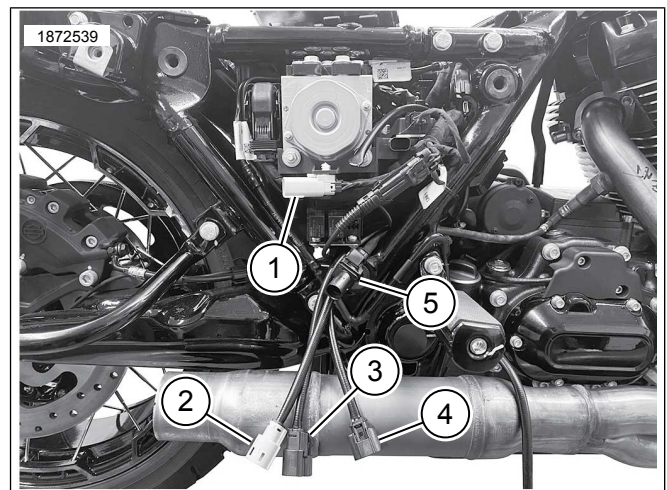
新品のエキゾーストガスカートでエキゾーストシステムを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

注記

ATMには、リードが4本とアースワイヤーが1本付いています。

11. 「図3」および「図5」を参照してください。ATM(1)は、バッテリーエリアの外壁、リアシリンダーの後ろに、ケーブルが車両の右側を向くように取り付けます。

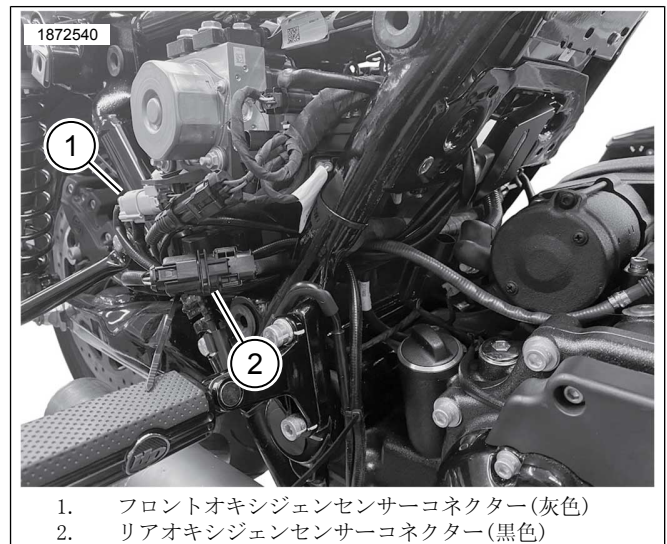
- a. ハーネス下の4個のコネクターをすべて、フレームの「V」字形底部に通して、サイドカバー部に通します。
- b. 「図7」を参照。アース線を長方形の穴に通し、アースポストに向けて配線します。



1. フロントおよびリアECUオキシジェンセンサー(グレーおよびブラック)
2. フロントオキシジェンセンサー(グレー)
3. リアオキシジェンセンサー(ブラック)
4. フロントオキシジェンセンサー(ロング)
5. リアオキシジェンセンサー(ショート)

図3。灰色および黒色のコネクターハーネスの取り回し

12. 「図4」および「図8」を参照してください。フロントおよびリアオキシジェンセンサーコネクターハーネスのリード線(1, 2)を、対応するコネクターに向けて配線します。カラーマッチハーネスコネクター: ブラックからブラックへ、グレーからグレーへ。



1. フロントオキシジェンセンサーコネクター(灰色)
2. リアオキシジェンセンサーコネクター(黒色)

図4。ATMメインハーネスの接続

13. 「図5」を参照。ATMをインストールします。

- a. アルコールを染み込ませたパッドで取り付け面をきれいにします。
- b. 接着面の剥離紙をはがし、デュアルロックテープをATMに取り付けます。
- c. デュアルロックテープの粘着バックングからライナーをはがし、ATM(1)をバッテリーコンパートメントエリアの外側、リアシリンダーの後ろに取り付けます。

- d. モジュールを10〜20° の下向きの角度で取り付けます。この角度でないと、ATM配線がCoolFlowファン（部品番号26800128）の取り付けに干渉します。

14. 注記

必要に応じてケーブルストラップをハーネスに固定します。バッテリーとトップキャディとを取り付けたときにハーネスのリードが干渉しないようにしてください。

ワイヤーハーネス(1)をフレームの内側に真っ直ぐ向けた状態で、ATMを取り付けます。

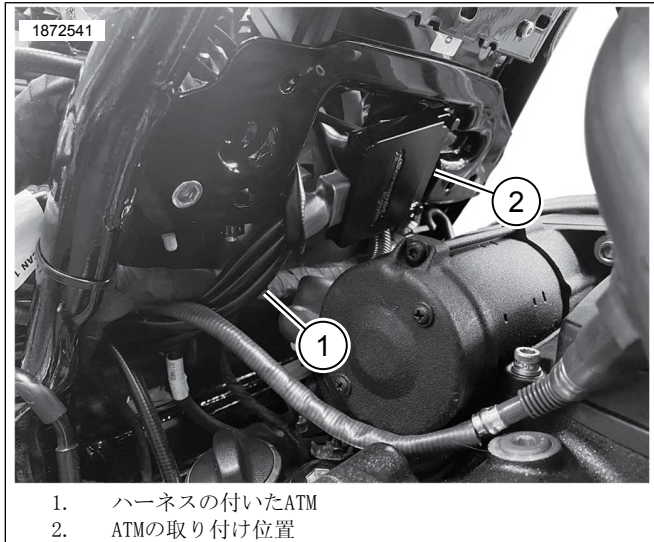


図5. ATMの取り付け位置

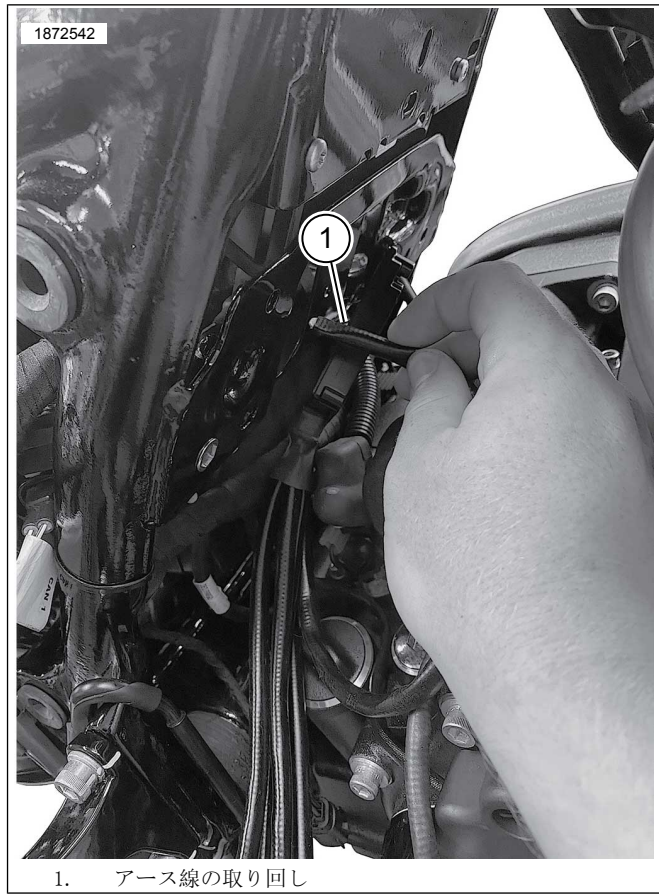


図6. アース線の配線

15. 注記

- ・ アースポストは、バッテリーコンパートメントのフロント側の左右にあります。
- ・ アースには「クリーン」と「ダーティ」の2種類があります。クリーンアースは黒/緑の配線で、センサーやモジュールによく使います。クリーンアースには、マイナスのバッテリーケーブルがつながったシャーシアースも付いており、多くの場合、これをGND1として使います。

「図7」を参照。ATMのアースワイヤーを取り回してクリーンアースポスト(2)に接続します。締め付ける。

トルク: 6-10 N・m (50-90 in-lbs)

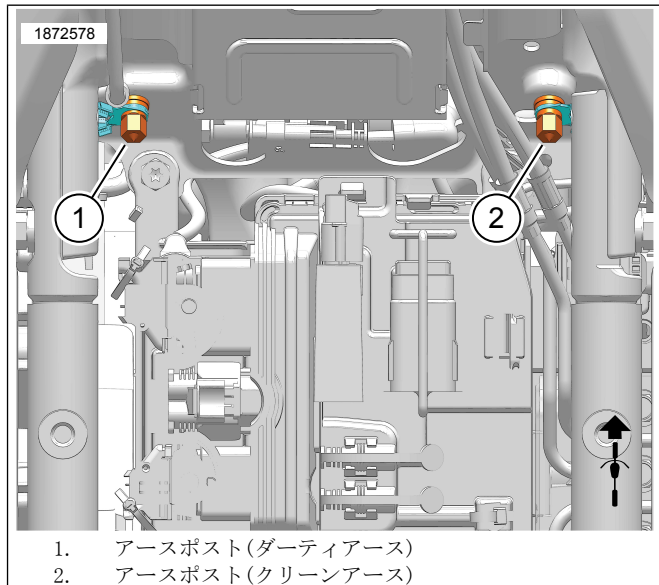


図7. バッテリーボックスのアースポストの位置

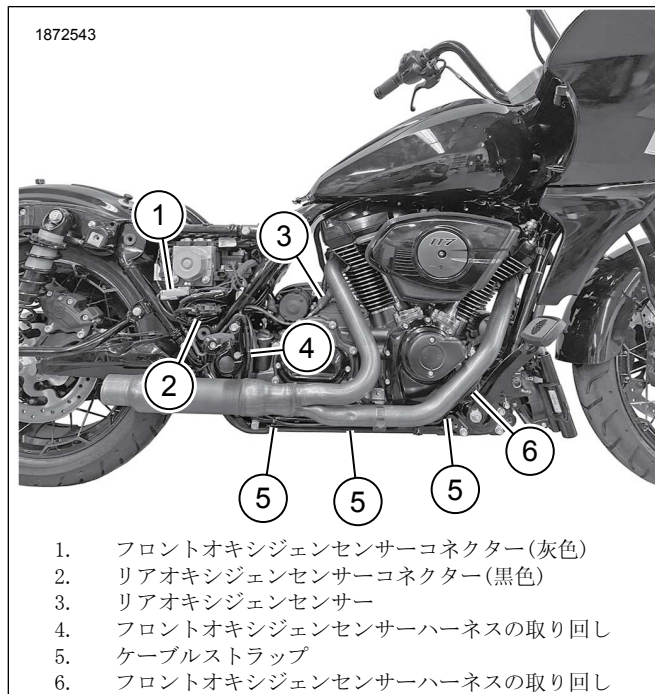
16. 「図8」を参照。フロントオキシジェンセンサー(5、長いハーネスリード)：

- a. フロントセンサーから右フレームダウンパイプの内側沿いにオキシジェンハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップを取り付けます。

- b. ロアフレームの内側沿いにオキシジェンセンサーコネクタの方へ向けてハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップを取り付けるか、または既存のクランプとリテーナーを使います。
- c. オキシジェンセンサーコネクタを接続します。

17. リアオキシジェンセンサー(4、短いハーネスリード) :

- a. 「図4」および「図5」を参照してください。ハーネスの余分なたるみをなくすには、リアオキシジェンセンサーハーネスを他のコネクタと同じ配線に沿ってサイドカバーエリアに配線します。
- b. ATMの2つのオキシジェンセンサーコネクタの短い方に差し込みます。
- c. 必要に応じて、ケーブルストラップを使用してハーネスとコネクタを固定します。



- 1. フロントオキシジェンセンサーコネクタ(灰色)
- 2. リアオキシジェンセンサーコネクタ(黒色)
- 3. リアオキシジェンセンサー
- 4. フロントオキシジェンセンサーハーネスの取り回し
- 5. ケーブルストラップ
- 6. フロントオキシジェンセンサーハーネスの取り回し

図8. ATMセンサーハーネスの取り回し

- 18. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。
- 19. 右フロントフットボードとブラケットをフレームに取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
- 20. バッテリー、バッテリーキャディ、ECMを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
- 21. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。
- 22. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。
- 23. サドルバッグを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

24. 「図9」を参照してください。取り付け作業の仕上げに Screamin' Eagle Pro ストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションを Screamin' Eagle Pro ストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー] オプションのプルダウンメニューから [Wideband (1) (ワイドバンド(1))] を選択します。Screamin'EaglePro ストリートチューナーの詳細については、Screamin'EaglePro のカタログをご覧ください。またはハーレーダビッドソン ジャパン 正規販売網店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図9. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

TouringワイドバンドO2センサー

表4. 対象車両

年	モデル
2014	FLHR、FLHRC、FLHTCU、FLHTCU TC、FLHTK、FLHX、FLHXS、FLHRSE、FLHTKSE、FLHP、FLHTP
2015	FLHR、FLHRC、FLHTCU、FLHTCUL、FLHTK、FLHTKL、FLHX、FLHXS、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLHP、FLHTP
2016	FLHR、FLHRC、FLHTCU、FLHTCUL、FLHTCUL TC、FLHTCU TC、FLHTK、FLHTKL、FLHX、FLHXS、FLTRU、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLHP、FLHTP
2017	FLHR、FLHRC、FLHRXS、FLHTCU、FLHTK、FLHTKL、FLHX、FLHXS、FLTRU、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLHP、FLHTP
2018	FLHR、FLHRC、FLHRXS、FLHTCU、FLHTK、FLHTKL、FLHTKANV、FLHX、FLHXS、FLHXSANX、FLHXANV、FLTRU、FLHTKSE、FLHTKSE、FLHXSE、FLTRXSE、FLHP、FLHTP
2019	FLHR、FLHRC、FLHRXS、FLHTCU、FLHTK、FLHTKL、FLHX、FLHXS、FLTRU、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLTRXSE、FLHP、FLHTP

表4. 対象車両

年	モデル
2020	FLHR、FLHRXS、FLHT、FLHTK、FLHX、FLHXS、FLTRK、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLTRXSE、FLHP、FLHTP
2021	FLH、FLHR、FLHRXS、FLHT、FLHTK、FLHX、FLHXS、FLTRX、FLTRXS、FLHTKSE、FLHXSE、FLTRXSE、FLHP、FLHTP
2022	FLHR、FLHRXS、FLHT、FLHTK、FLHX、FLHXS、FLHXST、FLTRK、FLTRX、FLTRXS、FLTRXST、FLHXSE、FLTRKSE、FLTRXSE、FLHP、FLHTP
2023	FLHFB、FLHRXS、FLHTK、FLHTKANV、FLHX、FLHXS、FLHXSANV、FLHXST、FLTRK、FLTRX、FLTRXS、FLTRXSANV、FLTRXST、FLTRKSEANV、FLHP、FLHTP

1. サドルバッグを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
4. バッテリーを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
5. 右フロントフットボードとブラケットをフレームから取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

6. **注記**
 フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

図10を参照。フロント(2)とリア(1)のオキシジェンセンサーコネクタを外します。

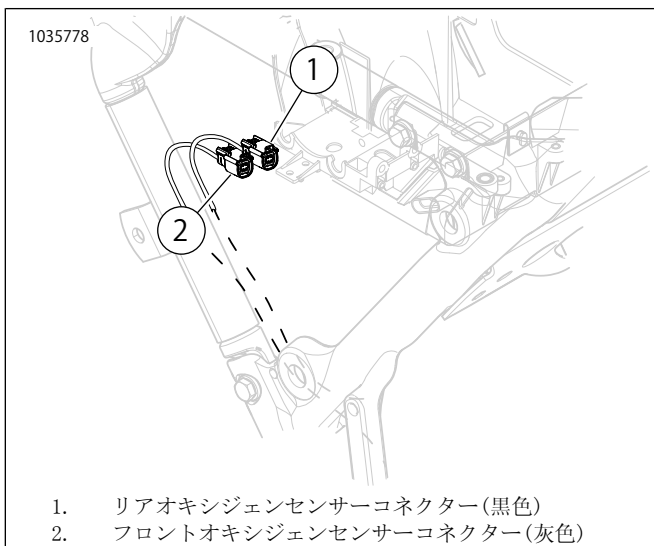


図10. フロントおよびリアのオキシジェンセンサーの位置

7. エキゾーストシステムを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
8. エキゾーストパイプ:
 - a. 2014～2016年モデル: オキシジェンセンサーの取り付けに備えて、Screamin Eagleハイフローエキゾーストシステム(ストリートキャノンマフラー付き)の準備をします。

注記

Screamin Eagleハイフローエキゾーストシステムのリワークは不要です。バングにワイドバンドオキシジェンセンサーを取り付けることができます。

- b. 2017年以降のモデル: エキゾーストパイプのリワークを行ってください。エキゾーストオキシジェンセンサーバングドリルアンドタップツールキット(部品番号14900105)を使用して手順を完了させるか、オキシジェンセンサーの取り付けに備えてScreamin Eagleハイフローエキゾーストシステム(ストリートキャノンマフラー付き)を取り付けます。

注記

- ・落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けしないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。
- ・交換用センサーアセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。
- ・電装コネクタは清潔で、誘電グリースが付着していない状態でなければなりません。

「図11」、「図52」、「表5」を参照してください。ワイドバンドO2センサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)



図11. オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

10. **注記**
 ワイドバンドセンサーストレインガイドがトランスミッションカバーに接触しても構いません。

O2センサーボディとトランスミッションカバーが接触する場合は、ミッドフレームエキゾーストクランプの下に

ワッシャーを2~3枚かスペーサーを1枚、挟み込んでください。スペーサーの厚みは0.200インチまで許容できます。

新品のエキゾーストガスカートでエキゾーストシステムを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

11. 注記

ATMには、リードが4本とアースワイヤーが1本付いています。

図12を参照。ATMをバッテリーボックスの内部に置いた状態で、灰色と黒色のコネクタハーネスを取り回します。

- バッテリーボックスエリアのフロント側の右隅から開始します。
- 灰色または黒色のコネクタハーネス(1)をブレーキライン(2)とフレームレール(3)との間に通します。
- バッテリーボックスエリアを出てサイドカバーエリアに入るまでコネクタハーネスを送り込みます。
- もう一方のコネクタハーネスについても同じ手順を繰り返します。

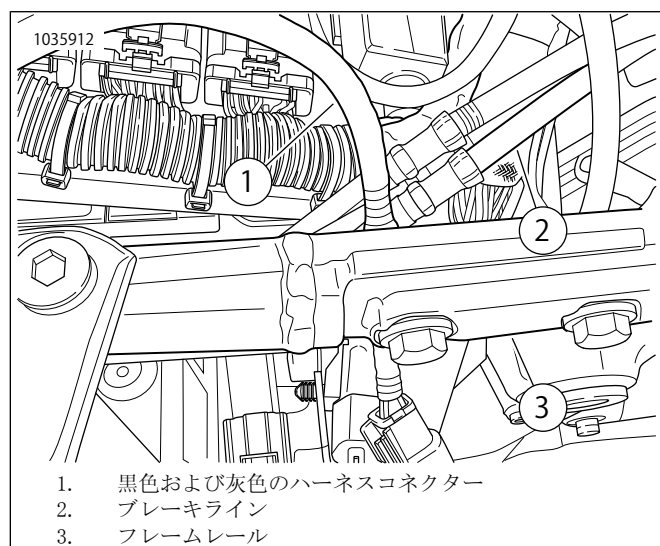


図12。灰色および黒色のコネクタハーネスの取り直し

12. 「図13」および「図8」を参照してください。灰色(3)および黒色(1)のコネクタハーネスリードをABSコントロールモジュール(2)の背後に取り回してメインハーネスに接続します。下のようにコネクタの色を合わせてください。黒どうしを接続し、灰色どうしを接続します。

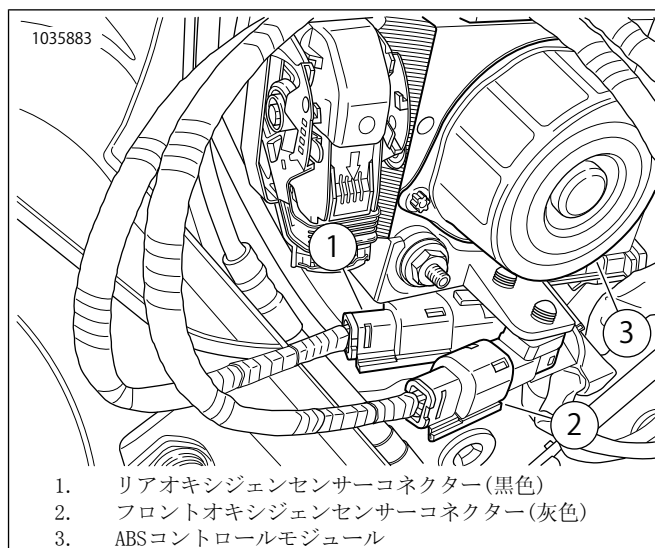


図13。ATMメインハーネスの接続

13. 図14を参照。アルコールを染み込ませたパッドで取り付け面をきれいにします。接着面の剥離紙をはがし、デュアルロックテープをATMに取り付けます。デュアルロックテープの接着面から剥離紙をはがし、バッテリーコンパートメントの背面にATM(1)を取り付けます。

14. 注記

必要に応じてケーブルストラップをハーネスに固定します。バッテリーとトップキャディとを取り付けたときにハーネスのリードが干渉しないようにしてください。

ワイヤーハーネス(2)をフレームの内側に真っ直ぐに向けた状態でATMを取り付けます。

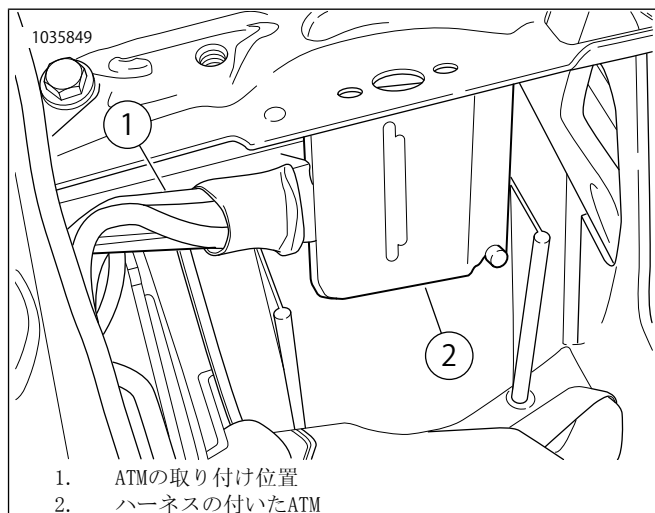


図14。ATMの取り付け位置

15. 注記

- アースポストは、バッテリーコンパートメントのフロント側の左右にあります。
- アースには「クリーン」と「ダーティー」の2種類があります。クリーンアースは(黒/緑)の配線で、通常はセンサーやモジュールに使用されます。クリーンアースには、マイナスのバッテリーケーブルがつながったシャーシアースも付いており、多くの場合、これをGND1として使います。

図15を参照。ATMのアースワイヤーを取り回してクリーンアースポスト(2)に接続します。次のトルク値で締め付けます:

トルク: 6-10 N・m (50-90 in-lbs)

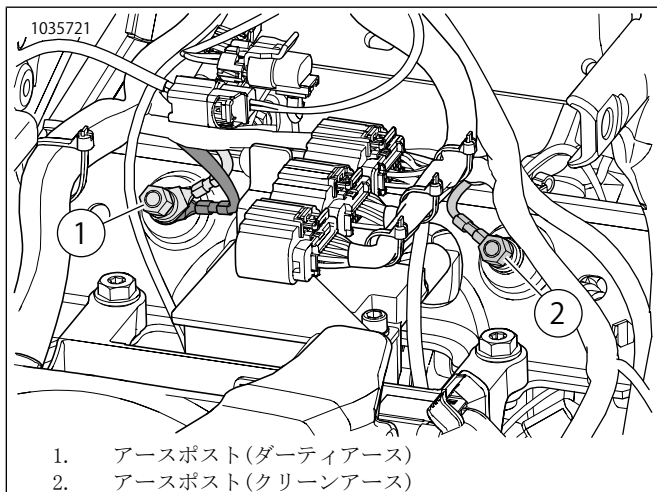


図15。バッテリーボックスのアースポストの位置

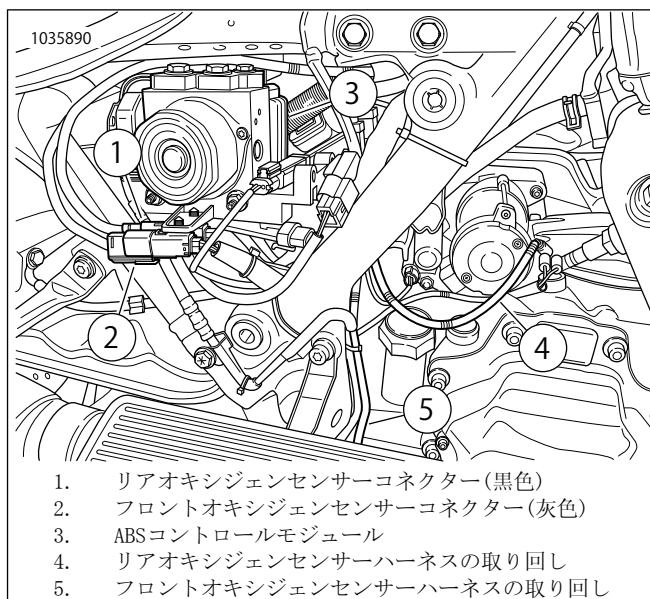


図16。ATMセンサーハーネスの取り回し

16. 図16を参照。フロントオキシジェンセンサー(5、長いハーネスリード):

- a. フロントセンサーから右フレームダウンパイプの内側沿いにオキシジェンハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップを取り付けます。
- b. ロアフレームの内側沿いにオキシジェンセンサーコネクタの方へ向けてハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップを取り付けるか、または既存のクランプとリテーナーを使います。
- c. オキシジェンセンサーコネクタを接続します。

17. リアオキシジェンセンサー(4、短いハーネスリード):

- a. リアセンサーからトランスミッション(4)の上面沿いにオキシジェンハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップを取り付けます。
- b. バッテリーボックスエリアからオキシジェンセンサーコネクタの方へ向けてATMハーネスを取り回して固定します。必要に応じてケーブルストラップで固定します。
- c. オキシジェンセンサーコネクタを接続します。

18. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。

19. 右フロントフットボードとブラケットをフレームに取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

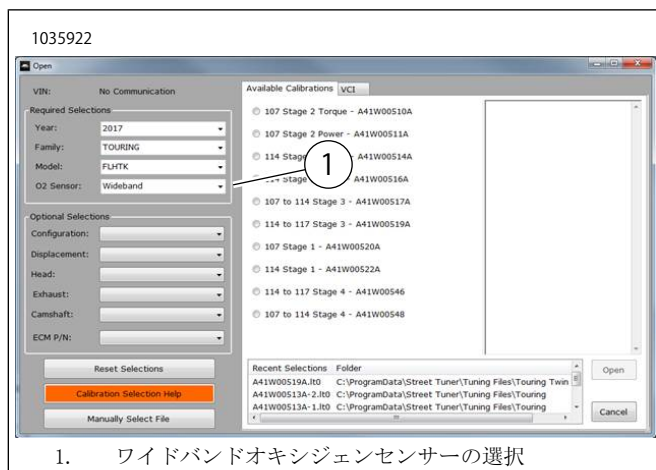
20. バッテリー、バッテリーキャディ、ECMを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

21. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

22. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。

23. サドルバッグを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

24. 図17を参照。取り付け作業の仕上げにScreamin' Eagle Pro ストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションをScreamin' Eagle Pro ストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー]オプションのプルダウンメニューから[Wideband (1)] (ワイドバンド(1))を選択します。Screamin' Eagle Pro ストリートチューナーの詳細については、Screamin' Eagle Pro のカタログをご覧になるか、またはハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図17. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

2018年式以降のSoftailワイドバンドオキシジェンセンサー

1. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. 右サイドカバーを取り外す。サービスマニュアルを参照してください。
4. マイナスバッテリーケーブルを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

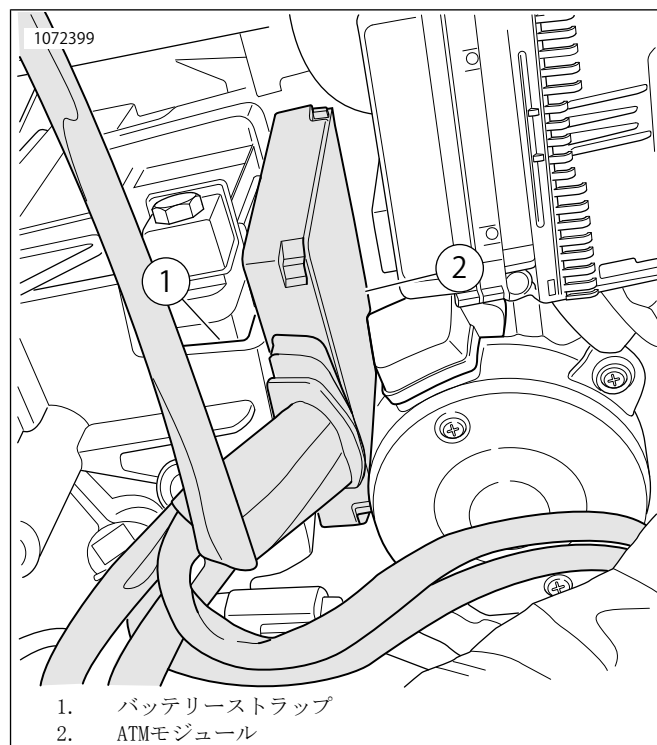
5. 注記

ATMモジュールが他の構成部品に接触していないことを確認します。

アースワイヤーがアースポストに届くように、モジュールを位置決めします。

「図18」を参照してください。ATMモジュールを位置決めします。

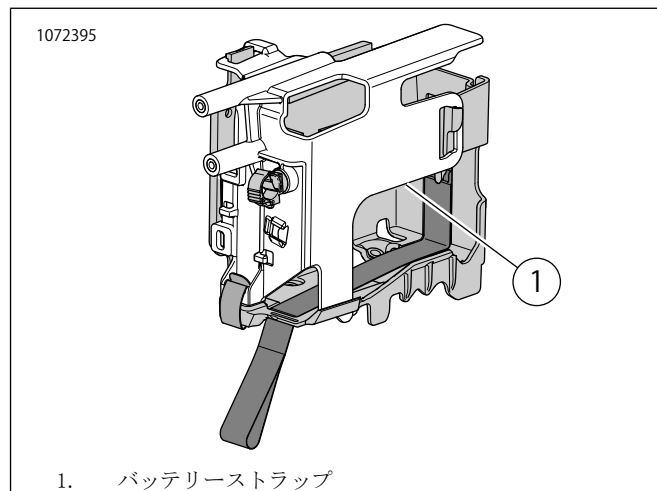
- a. バッテリーストラップ(1)にATMモジュール(2)を位置決めします。
- b. モジュールの位置をマークします。
- c. ATMモジュールを取り外します。



1. バッテリーストラップ
2. ATMモジュール

図18. モジュールの位置決め

6. 「図19」を参照してください。バッテリーストラップ(1)を取り外します。サービスマニュアルを参照してください。



1. バッテリーストラップ

図19. バッテリーストラップの位置

7. 注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図20」を参照してください。リアオキシジェンセンサーコネクタ(1)をメインハーネスから取り外します。

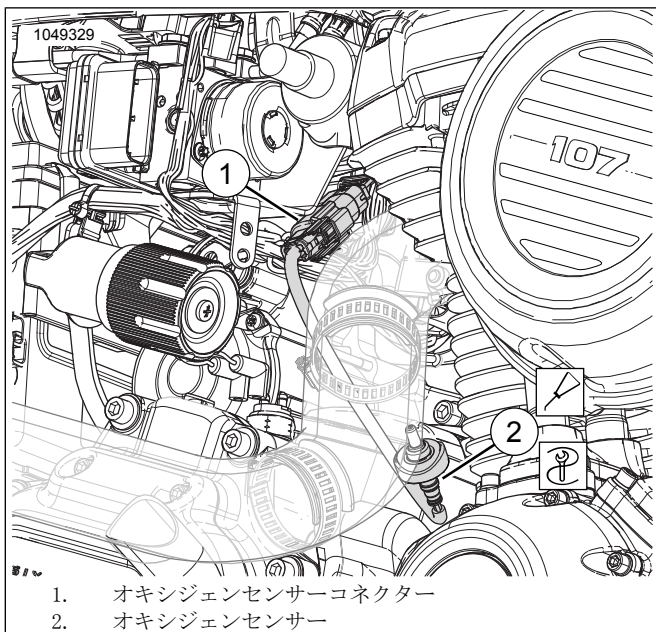


図20。リアO2センサー

8. 注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図21」を参照。フロントオキシジェンセンサーコネクタ(1)をメインハーネスから取り外します。

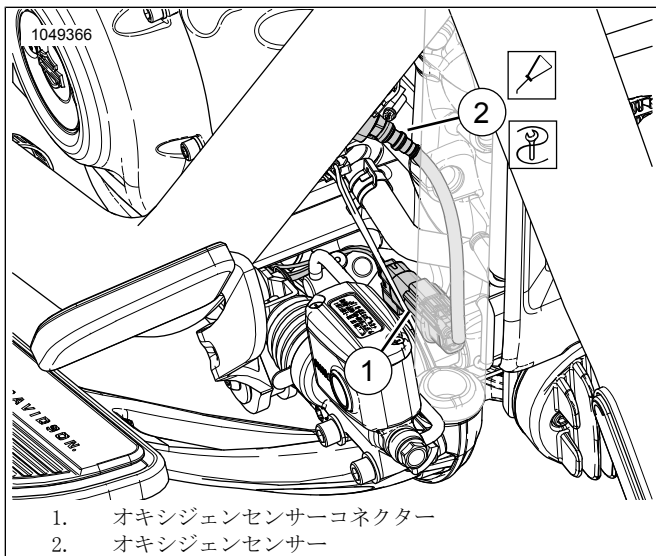


図21。フロントO2センサー

9. エキゾーストパイプを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

10. エキゾーストシステムの両方のオキシジェンセンサーポートに穴をあけ、軽く叩きます。エキゾーストオキシジェンセンサーバングドリルアンドタップツールキット(部品番号14900105)を使用して手順を完了します。

11. 注記

・落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けしないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。

- ・ 交換用センサーアセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。
- ・ 電装コネクタは清潔で、誘電グリースが付着していない状態でなければなりません。

「図22」、「図52」、「表5」を参照してください。ワイドバンドO2センサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)

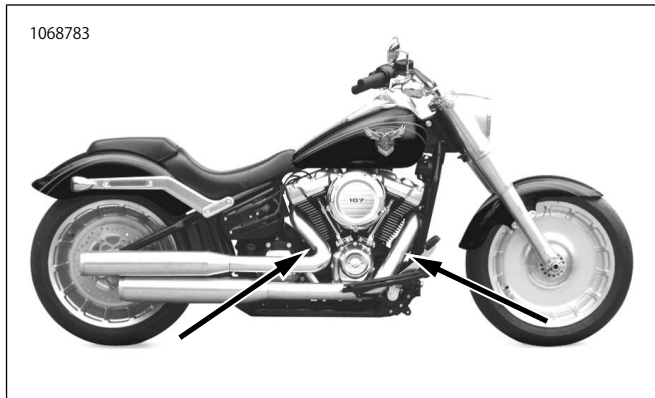


図22。オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

12. 新品のエキゾーストガスケットでエキゾーストパイプを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

13. 「図19」を参照してください。バッテリーストラップを取り付けます。

- アルコールを染み込ませたパッドで取り付け面をきれいにします。
- 接着面の剥離紙をはがし、デュアルロックテープをATMに取り付けます。
- デュアルロックテープの接着面から剥離紙をはがし、バッテリーストラップのマーク付けた場所に取り付けます。
- ATMをバッテリーストラップに取り付けます。
- バッテリーストラップを取り付けます。

14. 注記

アースポストは左フレームレールのシートの下にあります。

アースワイヤーがショックの動きの妨げにならないことを確認します。

「図23」を参照。ATMのアースワイヤーを取り回してリアクリーンアースポスト(1)に接続します。次のトルク値で締め付けます:

トルク: 6-10 N·m (50-90 in-lbs)

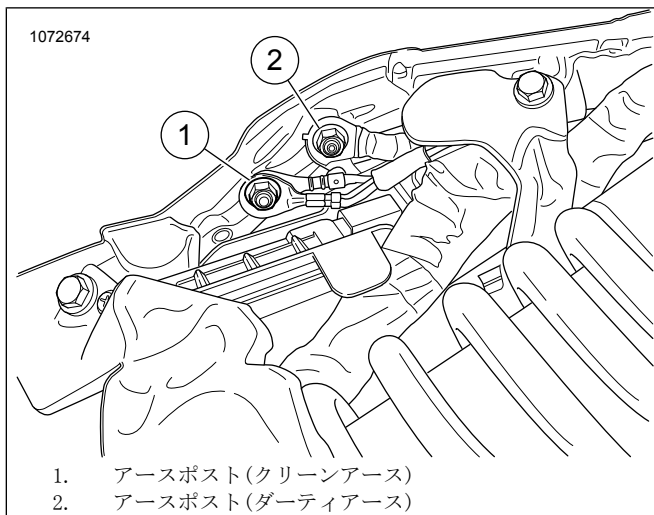


図23。フレームアース

15. 注記

ワイヤーエクステンションハーネスの一方の端には灰色のコネクタがあり、もう一方の端には黒のコネクタが付いています。

ワイドバンドオキシジェンセンサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201830)をATMハーネスアッセンブリーに接続します。下のようにコネクタの色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。

16. 「図24」および「図25」を参照してください。グレーのコネクタ(4)の付いたフロントオキシジェンハーネスをバッテリーコンポーネントから外へ取り回します。

- メインハーネス(6)を見つけます。
- 灰色コネクタの付いたハーネス(4)をメインハーネス沿いにフロントメインハーネスコネクタ(9)へ向けて取り回します。
- 次のようにオキシジェンセンサーコネクタの色を合わせてください。黒を黒に接続します。
- 必要に応じてケーブルストラップを使って右側のフレームレール(8)の内側にハーネスを固定します。

17. 黒色ハーネスコネクタ(2)をメインハーネスまで取り回します。下のようにコネクタの色を合わせてください。黒を黒に接続します。

18. フロントオキシジェンセンサー(長いハーネスリード):

- フロントオキシジェンセンサーコネクタハーネス(5)をバッテリーコンパートメントから外へ取り回します。
- メインハーネス(6)を見つけます。
- ハーネス(5)をメインハーネス沿いにフロントオキシジェンセンサー(7)へ向けて取り回します。
- センサーコネクタを接続します。
- 必要に応じてケーブルストラップを使って右側のフレームレール(8)の内側にハーネスを固定します。

19. リアオキシジェンセンサー(短いハーネスリード):

- ハーネスをトランスミッションの上部沿いに取り回します。
- センサーコネクタ(3)を接続します。
- 必要に応じてケーブルストラップでハーネスを固定します。

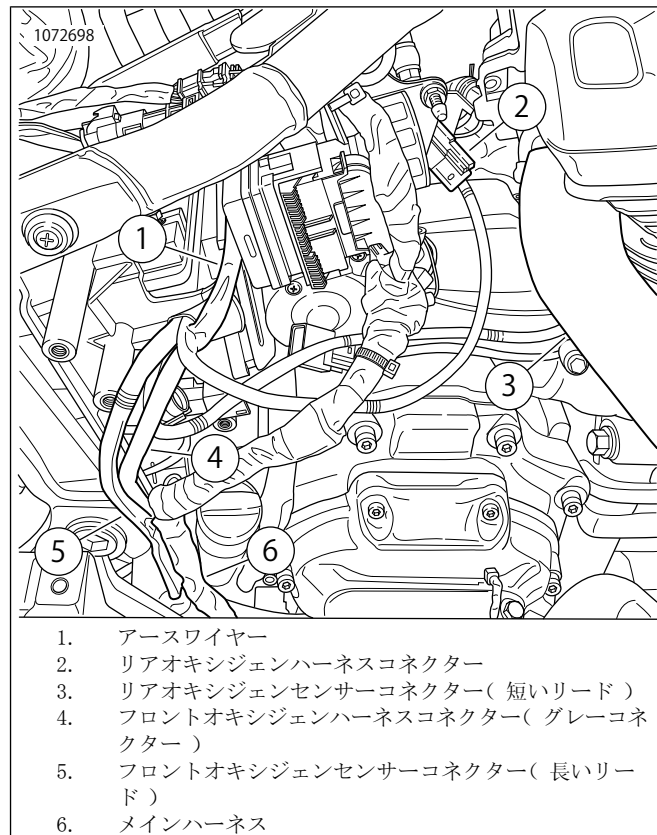


図24。ATMハーネスの取り回し

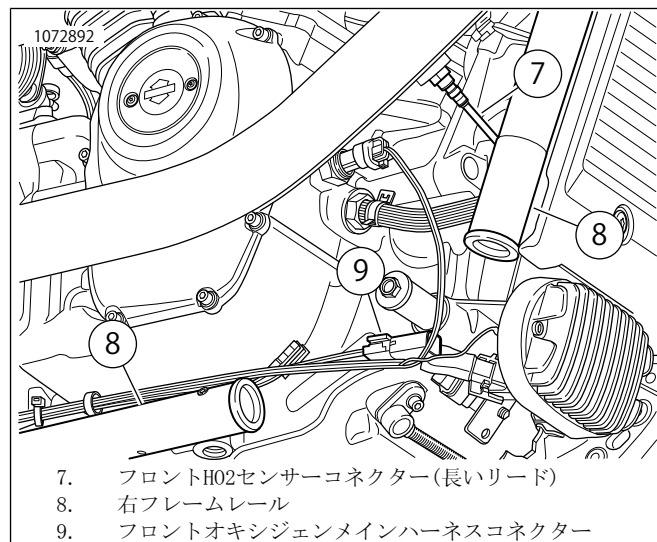


図25。フロントATMハーネスの取り回し(わかりやすくするためにパーツは取り外した状態)

20. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。

21. マイナスバッテリーケーブルを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
22. 右サイドカバーを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
23. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。
24. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。
25. 「図26」を参照してください。取り付け作業の仕上げに Screamin' Eagle Proストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションをScreamin' EagleProストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー]オプションのプルダウンメニューから[Wideband (1)](ワイドバンド(1))を選択します。Screamin'EagleProストリートチューナーの詳細については、Screamin'EagleProのカタログをご覧になるか、またはハーレーダビッドソン ジャパン正規販売网店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図26. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

2016～2017年式Softailワイドバンドオキシジェンセンサー

1. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. バッテリーを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
4. 「図27」を参照してください。バッテリーキャディを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

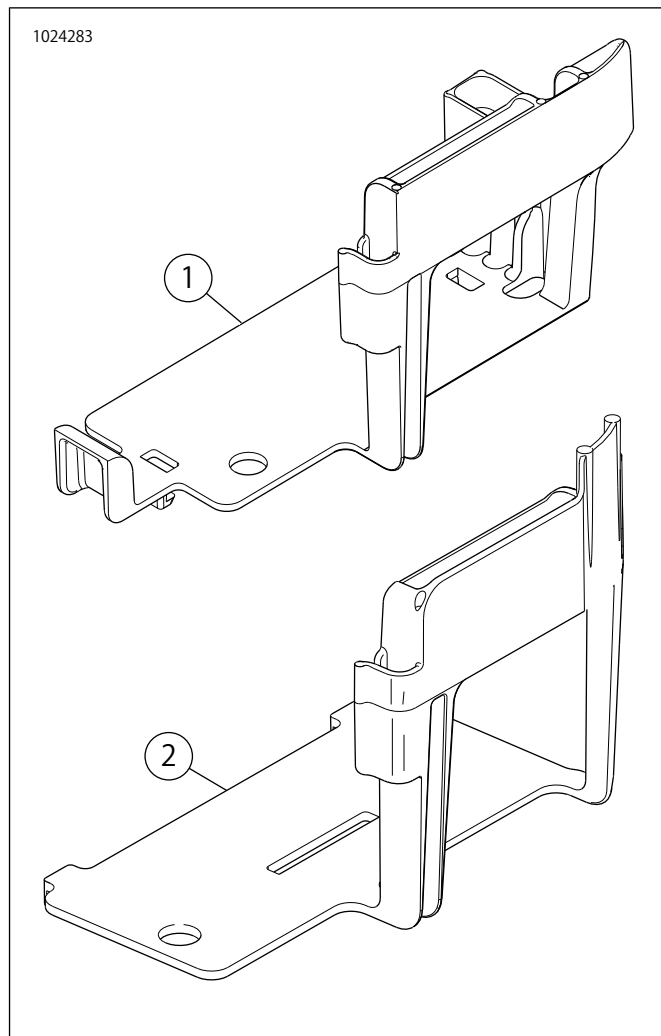


図27. 変更されていないSoftailバッテリーキャディ

5. 注記

バッテリーキャディは、ATMが収納できるように手を加えなければなりません。補強リブは全部は切り裂かないでください。指定されたエリアだけを指示どおりに切ってください。必要以上に切ると、バッテリーキャディの構造的な強度が失われます。

カッティングホイール付きのダイグラインダーがお勧めです。

「図28」、「図29」、「図30」を参照してください。キャディの補強リブ(1および2)を切り取ります。

- a. ATMモジュールをバッテリーキャディの内部に持てきます。
- b. ATMハーネスのアウトラインの印を前面に付けます。隣接するリブにも深さの印を付けます。

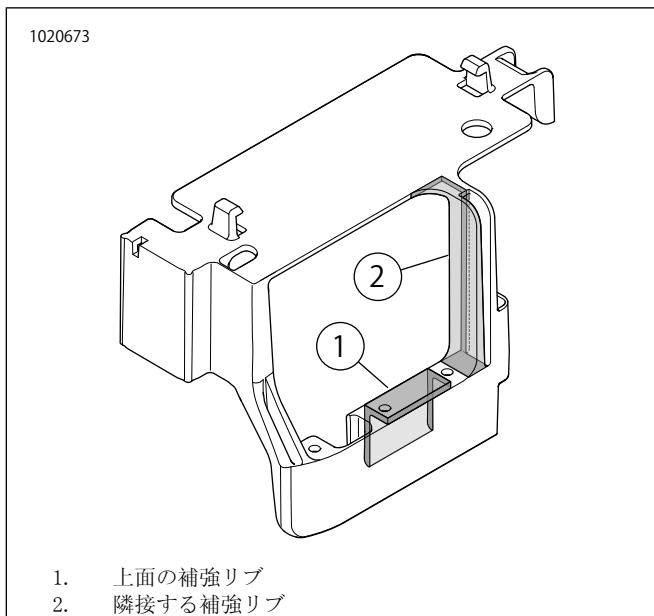


図28。切り離す部分

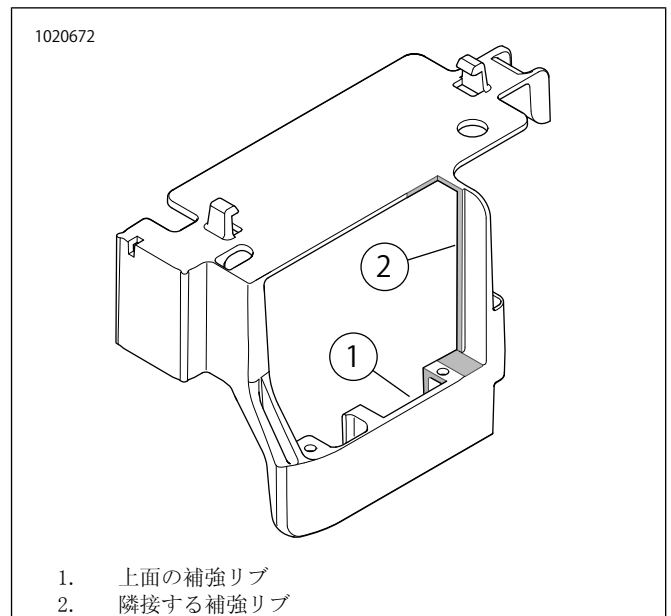


図30。切り離すキャディの背面

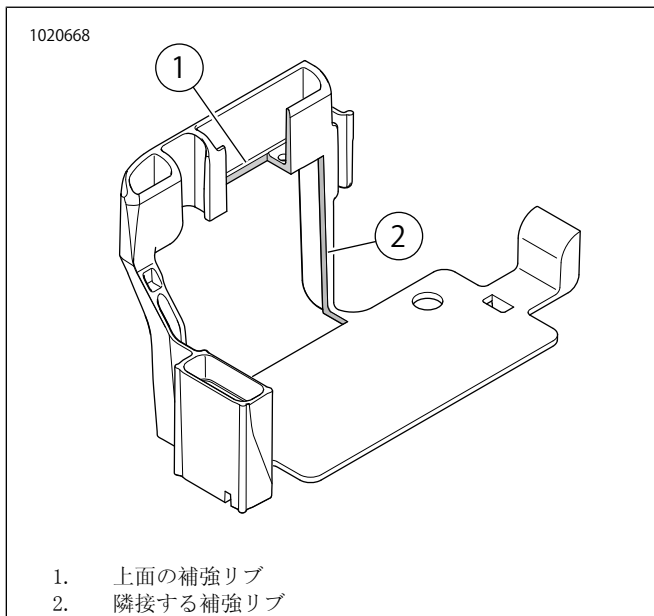


図29。切り離すキャディの前面

6. **注記**
フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図31」を参照。リア(1)オキシジェンセンサーコネクターをメインハーネスから取り外します。

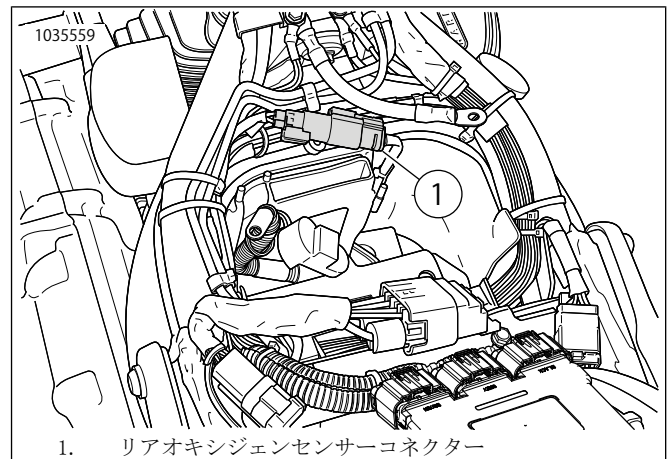
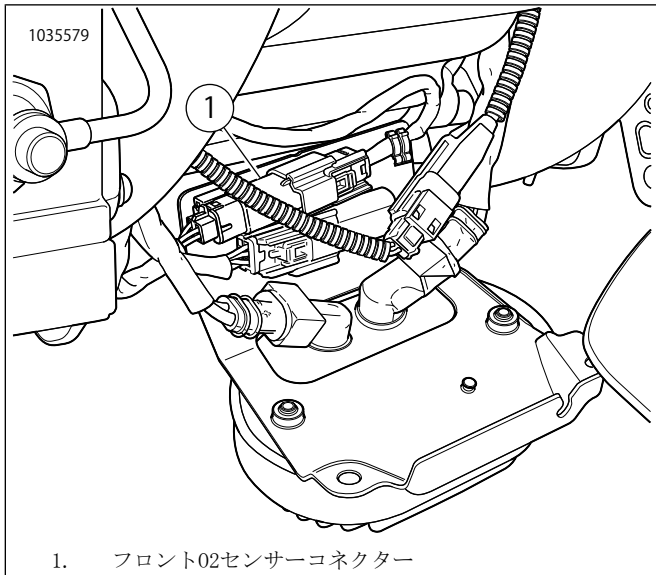


図31。リアオキシジェンセンサーの位置

7. **注記**
フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図32」を参照。フロントボルテージレギュレーターカバーを開き、フロントオキシジェンセンサーコネクター(1)の接続を外します。コネクターハウジングをキャディから取り外します。



1. フロントO2センサーコネクタ

図32. フロントオキシジェンセンサーの位置

8. エキゾーストパイプを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

9. 注記

- ・落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。
- ・交換用センサーアセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。
- ・電装コネクタは清潔で、誘電グリスが付着していない状態であればなりません。

「図33」、「図52」、「表5」を参照してください。ワイドバンドO2センサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)



図33. オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

10. 新品のエキゾーストガスケットでエキゾーストパイプを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

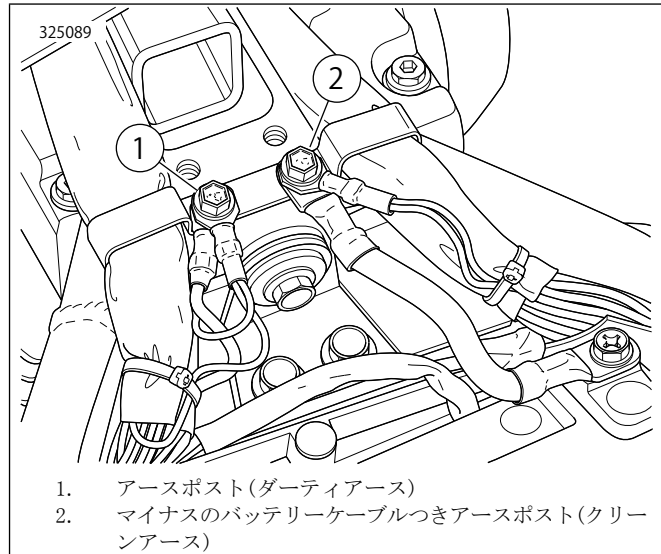
11. ATMと一緒にバッテリーキャディを取り付けます。必要に応じて調整したり位置を変えたりします。

12. 注記

アースポストは、バッテリーコンパートメントのフロント側にあります。

「図34」を参照。ATMのアースワイヤーをクリーンアースポストに接続します。次のトルク値で締め付けます:

トルク: 6-10 N·m (50-90 in-lbs)



1. アースポスト(ダーティアース)
2. マイナスのバッテリーケーブルつきアースポスト(クリーンアース)

図34. バッテリーボックスのアースポストの位置

13. ワイドバンドオキシジェンセンサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201704)をATMハーネスアセンブリーに接続します。下のようにコネクタの色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。

14. 「図35」を参照してください。灰色のハーネスコネクタをバッテリーコンパートメントの外へ取り回します。

- a. メインハーネス(3)を見つけます。
- b. 灰色コネクタの付いたハーネスをメインハーネス(2)沿いにフロントメインハーネスコネクタへ向けて取り回します。
- c. 下のようにコネクタ(1)の色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。
- d. 必要に応じてケーブルストラップを使ってメインハーネスの内側にハーネスを固定します。

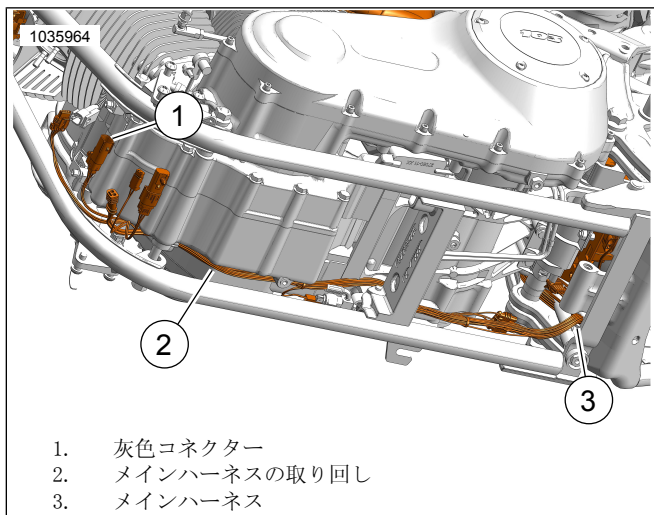


図35. ハーネスの取り回し

1. 灰色コネクタ
2. メインハーネスの取り回し
3. メインハーネス

15.

注記

バッテリーとキャディを取り付けたときにハーネスのリードが干渉しないようにしてください。

「図31」を参照。黒色ハーネスコネクタをメインハーネスまで取り回します。下のようにコネクタの色を合わせてください。黒を黒に接続します。

16. 「図36」を参照してください。フロントオキシジェンセンサー(長いハーネスリード) :

- a. ハーネスコネクタをバッテリーコンパートメントの外へ取り回します。
- b. メインハーネス(2)を見つけます。
- c. メインハーネス(1)沿いにフロントオキシジェンセンサーコネクタへ向けてハーネスを取り回します。
- d. センサーコネクタを接続します。
- e. 必要に応じてケーブルストラップを使ってメインハーネスの内側にハーネスを固定します。

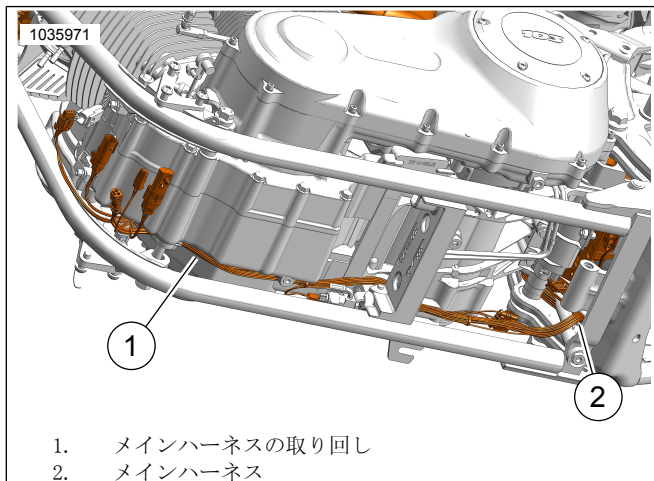


図36. ハーネスの取り回し

1. メインハーネスの取り回し
2. メインハーネス

17. リアオキシジェンセンサー(短いハーネスリード) :

- a. ハーネスをトランスミッションの上面に沿ってニュートラルスイッチ部へ取り回します。
- b. センサーコネクタを接続します。
- c. 必要に応じてケーブルストラップでハーネスを固定します。

18. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。

19. バッテリーを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

20. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

21. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。

22. 「図37」を参照してください。取り付け作業の仕上げにScreamin' Eagle Proストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションをScreamin' EagleProストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー]オプションのプルダウンメニューから[Wideband (1) (ワイドバンド(1))]を選択します。Screamin'EagleProストリートチューナーの詳細については、Screamin' EagleProのカタログをご覧ください。またはハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図37. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

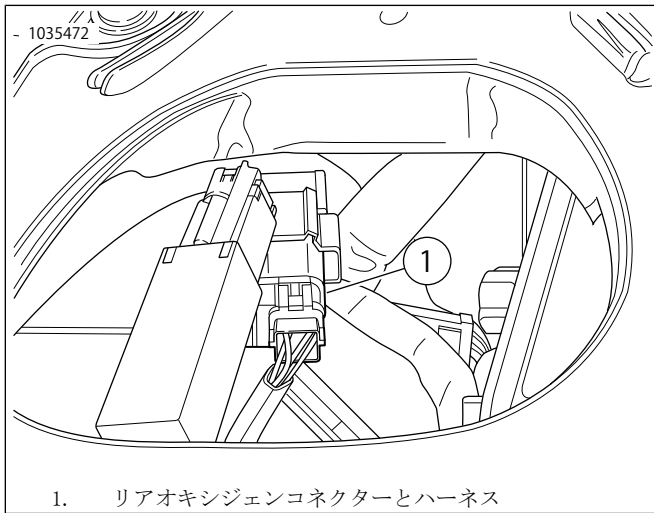
Dynaワイドバンドオキシジェンセンサー

1. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. バッテリーとバッテリーボックスを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

4. 注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図38」を参照。リア(1)オキシジェンセンサーコネクタをメインハーネスから取り外します。

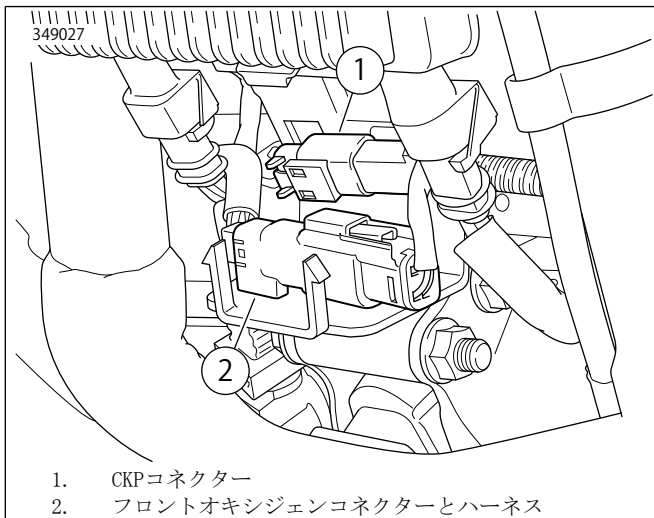


1. リアオキシジェンコネクタとハーネス
図38。リアオキシジェンセンサーの位置

5. 注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図39」を参照。フロント電装キャディカバーを開き、フロントオキシジェンセンサーコネクタ(2)の接続を外します。コネクタハウジングをキャディから取り外します。



1. CKPコネクタ
2. フロントオキシジェンコネクタとハーネス
図39。フロントオキシジェンセンサーの位置

6. エキゾーストパイプを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

7. 注記

・落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けしないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。

- ・交換用センサーアセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。
- ・電装コネクタは清潔で、誘電グリースが付着していない状態でなければなりません。

「図40」、「図52」および「表5」を参照してください。エキゾーストヘッダー(部品番号 64884-09A)にワイドバンドオキシジェンセンサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)



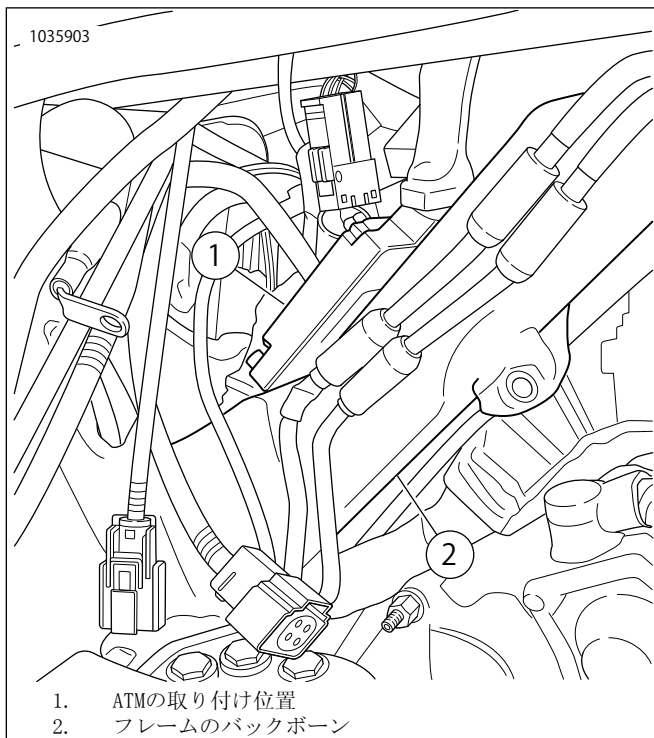
図40。オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

8. 新品のエキゾーストガスケットでエキゾーストパイプを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

9. 注記

ATMには、リードが4本とアースワイヤーが付いています。ワイヤーハーネスをフレームのバックボーンに向けた状態でATMを取り付けます。

「図41」を参照してください。アルコールを染み込ませたパッドで取り付け面をきれいにします。接着面の剥離紙をはがし、デュアルロックテープをATMに取り付けます。デュアルロックテープの接着面から剥離紙をはがし、フレームのバックボーンにATMを取り付けます。



1. ATMの取り付け位置
2. フレームのバックボーン

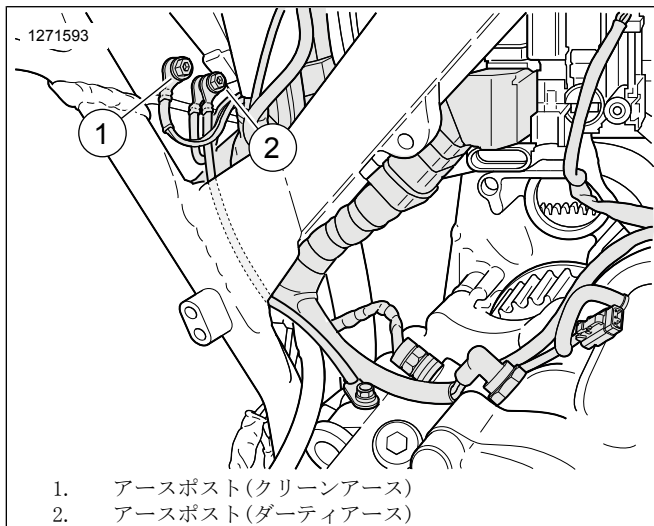
図41。ATMの取り付け位置

10. 注記

- ・ アースポストは、シート部の下右側、バッテリーコンパートメント上部のリアにあります。
- ・ バッテリーとキャディとを取り付けたときにハーネスが干渉しないようにしてください。
- ・ アース：アースは、クリーンアースとダーティアースとに分類できます。クリーンアースは黒/緑の配線で、センサーやモジュールによく使います。

「図42」を参照。ATMのアースワイヤーを取り回してクリーンアースポスト(1)に接続します。締め付ける。

トルク：6-10 N・m (50-90 in-lbs)



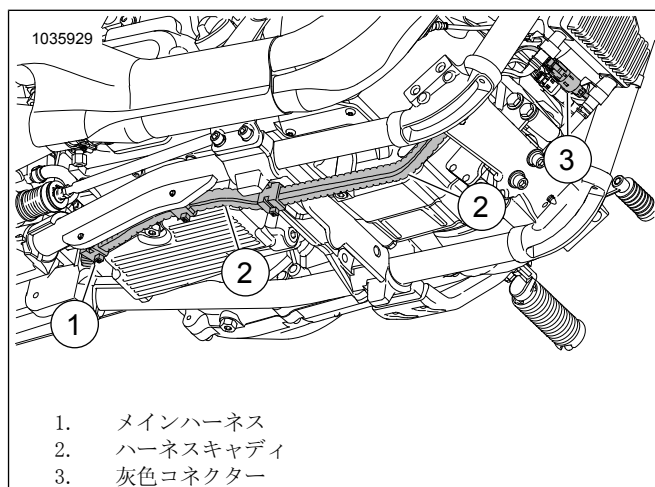
1. アースポスト(クリーンアース)
2. アースポスト(ダーティアース)

図42。バッテリーボックスのアースポストの位置

11. ワイドバンドオキシジェンセンサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201704)をATMハーネスアッセンブリーに接続します。下のようにつなぐカラーの色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。

12. 「図43」を参照してください。灰色のハーネスコネクタを背面バッテリーコンパートメントから外へ取り回します。

- a. ハーネスキャディ(2)につながっているメインハーネス(1)を見つけます。
- b. 灰色コネクタの付いたハーネスをメインハーネスキャディ沿いにフロントメインハーネスコネクタへ向けて取り回します。
- c. 下のようにつなぐカラーの色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。
- d. 必要に応じてケーブルストラップを使ってハーネスキャディ(2)の内側にハーネスを固定します。



1. メインハーネス
2. ハーネスキャディ
3. 灰色コネクタ

図43。ハーネスキャディ

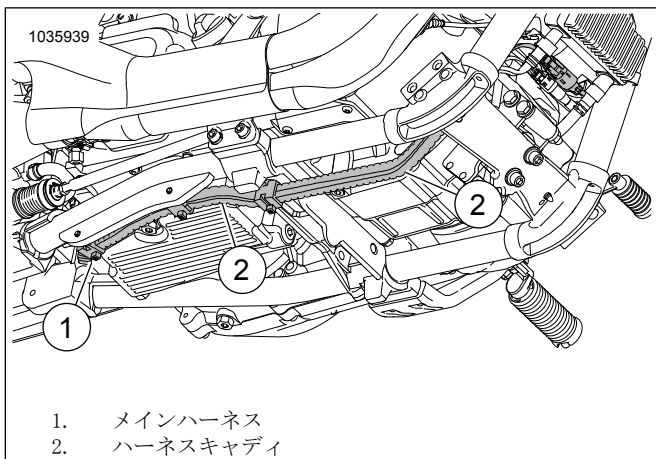
13. 注記

バッテリーとキャディを取り付けたときにハーネスのリードが干渉しないようにしてください。

「図38」を参照。黒色ハーネスコネクタをメインハーネスまで取り回します。下のようにつなぐカラーの色を合わせてください。黒を黒に接続します。

14. 「図44」を参照。フロントオキシジェンセンサー(長いハーネスリード)：

- a. ハーネスコネクタを背面バッテリーコンパートメントから外へ取り回します。
- b. ハーネスキャディ(2)につながっているメインハーネス(1)を見つけます。
- c. メインハーネスキャディ(2)沿いにフロントオキシジェンセンサーコネクタへ向けてハーネスを取り回します。
- d. センサーコネクタを接続します。
- e. 必要に応じてケーブルストラップを使ってハーネスキャディ(2)の内側にハーネスを固定します。



1. メインハーネス
2. ハーネスキャディ

図44。ハーネスキャディ

15. リアオキシジェンセンサー(短いハーネスリード):
 - a. ハーネスをトランスミッションの上面に沿ってニュートラルスイッチ部へ取り回します。
 - b. センサーコネクタを接続します。
 - c. 必要に応じてケーブルストラップでハーネスを固定します。
16. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。
17. バッテリーキャディおよびバッテリーを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
18. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。
19. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。
20. 「図45」を参照してください。取り付け作業の仕上げにScreamin' Eagle Proストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションをScreamin' EagleProストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー]オプションのプルダウンメニューから[Wideband (1)](ワイドバンド(1))を選択します。Screamin'EagleProストリートチューナーの詳細については、Screamin' EagleProのカタログをご覧ください。またはハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図45。ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

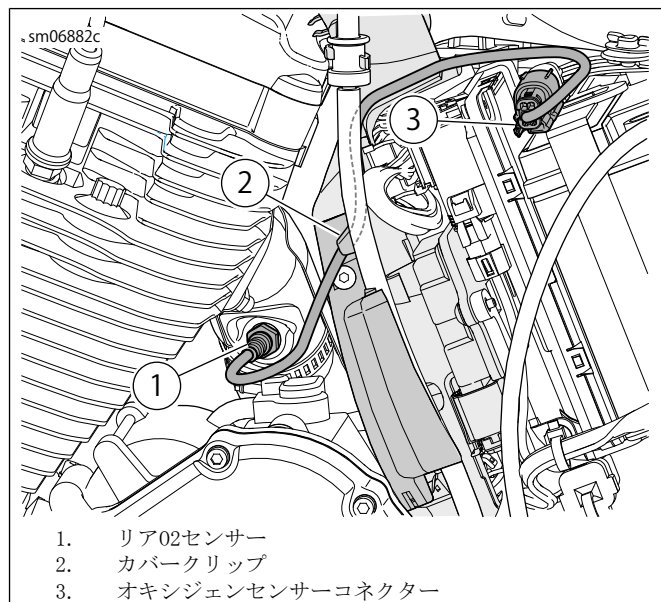
Sportsterワイドバンドオキシジェンセンサー

規制承認保留中。製品の情報については、次にアクセスしてください:www.harley-davidson.com/shop/screamin-eagle

1. メインヒューズを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. 左サイドカバーを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
4. マイナスバッテリーケーブルを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
5. **注記**

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図46」を参照してください。リアオキシジェンセンサーコネクタ(3)をメインハーネスから取り外します。



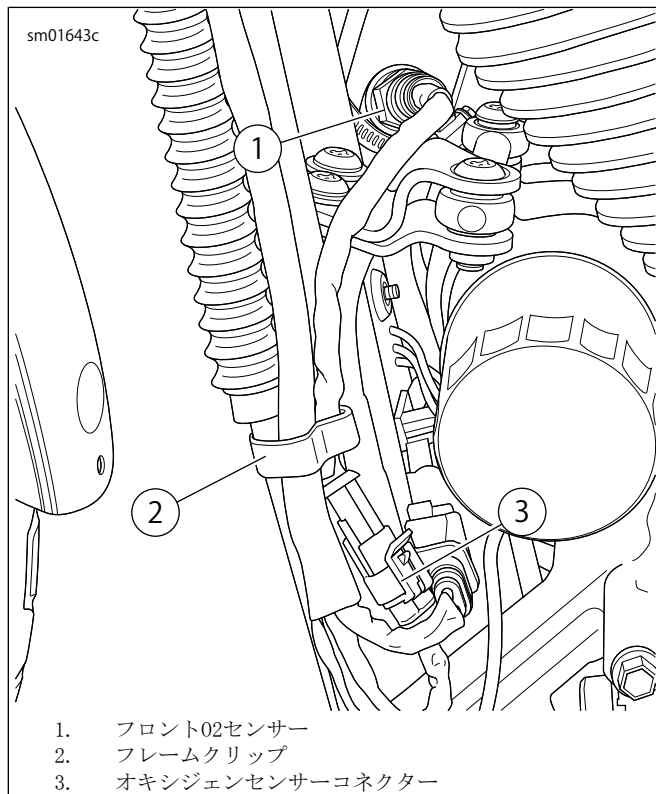
1. リアO2センサー
2. カバークリップ
3. オキシジェンセンサーコネクタ

図46。リアO2センサー

6. 注記

フレーム沿いのオキシジェンセンサーハーネスの取り回しとケーブルストラップの配置に注意してください。

「図47」を参照。フロントオキシジェンセンサーコネクタ(3)をメインハーネスから取り外します。



- 1. フロントO2センサー
- 2. フレームクリップ
- 3. オキシジェンセンサーコネクタ

図47。フロントO2センサー

7. エキゾーストパイプを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

8. 注記

オキシジェンセンサーバングの取り付けおよび取り外しは、専門家による溶接または金属加工工場で行うことを推奨しています。

エキゾーストシステムの、両方の既装着のオキシジェンセンサーバングを取り外し/接続します。

9. 注記

表2本取り扱い説明書の最初に記載されているオキシジェンセンサーバングの仕様。

新品のオキシジェンセンサーバングをエキゾーストシステムに取り付けます。

10. 注記

- ・落下したり他の構成部品によって衝撃を与えられたセンサーを取り付けしないでください。感知エレメントが損傷する場合があります。
- ・交換用センサーアッセンブリーは、ねじ部にAnti-Seize Lubricant (アンチシーズルブリカント)が塗布され、新品のガスケットが取り付けられています。

- ・電装コネクタは清潔で、誘電グリースが付着していない状態でなければなりません。

「図48」、「図52」および「表5」を参照してください。ワイドバンドオキシジェンセンサー(2)を取り付けます。オキシジェンセンサーソケット(部品番号HD-48262-A)を使って次のトルク値で締め付けます:

トルク: 40-60 N·m (29-44 ft-lbs)



図48。オキシジェンセンサーの位置(エキゾーストパイプの内側)

11. 新品のエキゾーストガスケットでエキゾーストパイプを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

12. 「図50」を参照してください。ATMモジュール(5)を取り付けます。

- a. アルコールを染み込ませたパッドで取り付け面をきれいにします。
- b. 接着面の剥離紙をはがし、デュアルロックテープをATMに取り付けます。
- c. デュアルロックテープの接着面から剥離紙をはがし、バッテリーストラップの側面にATMを取り付けます。

13. 注記

「図49」を参照してください。アースポスト(1)は、クランクケースの左半分にあるプライマリーカバーの背後に位置します。

マイナスバッテリーケーブルがこのアースポイントに取り付けられていることを確認します。

「図50」を参照してください。ATMのアースワイヤー(6)を取り回してクリーンアースポストに接続します。次のトルク値で締め付けます:

トルク: 6-10 N·m (50-90 in-lbs)

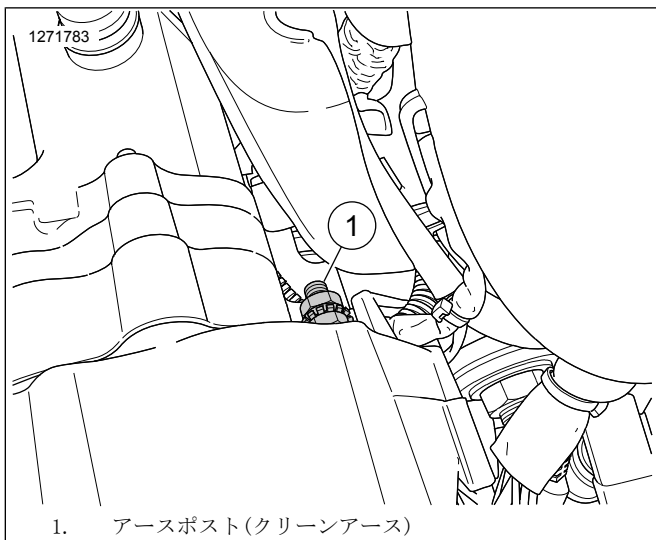


図49。Sportsterアース

14. 注記

ワイヤーエクステンションハーネスの一方の端には灰色のコネクタがあり、もう一方の端には黒のコネクタが付いています。

ワイドバンドオキシジェンセンサーワイヤーハーネスエクステンションキット(部品番号69201830)をATMハーネスアッセンブリーに接続します。下のようにコネクタの色を合わせてください。灰色を灰色に接続します。

15. グレーのフロントオキシジェンハーネスコネクタを背面バッテリーコンパートメントから外します。

- a. ABSハーネス(7)を見つけます。
- b. 灰色コネクタの付いたハーネス(1)をABSハーネス沿いに左側のフレームレールへ向けて取り回します。
- c. ハーネス(1)をフレーム沿いにフロントメインハーネスコネクタへ向けて取り回します。
- d. 下のようにコネクタの色を合わせてください。黒を黒に接続します。
- e. 必要に応じてケーブルストラップを使って左側のフレームレールの内側にハーネスを固定します。

16. ブラックのリアオキシジェンハーネスコネクタ(4)を取り回してメインハーネスに接続します。

- a. 下のようにコネクタの色を合わせてください。黒を黒に接続します。

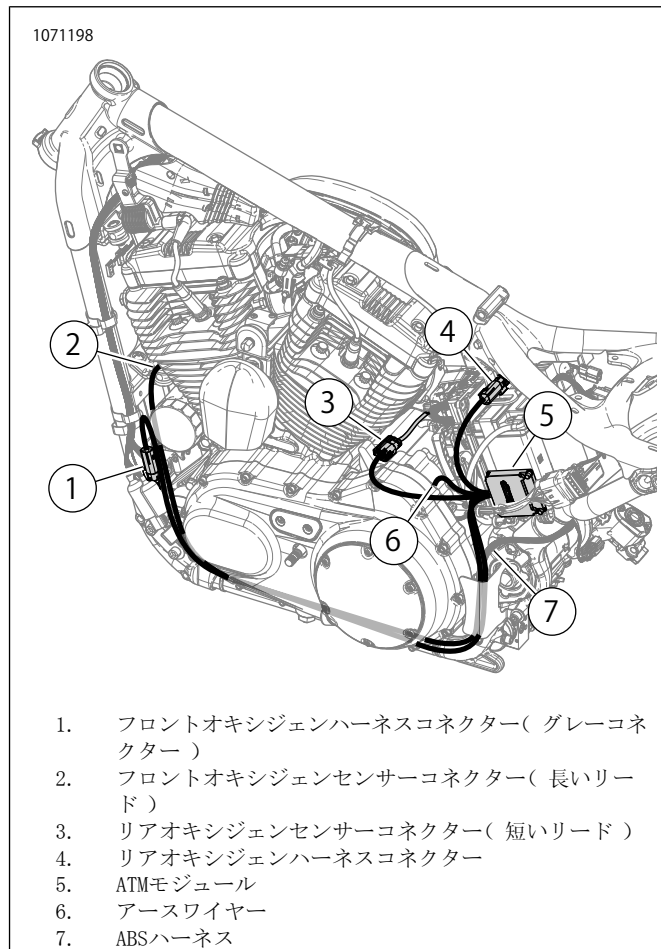
17. フロントオキシジェンセンサー(長いハーネスリード) :

- a. フロントオキシジェンセンサーコネクタハーネス(2)を背面バッテリーコンパートメントから外します。
- b. ABSハーネス(7)を見つけます。
- c. ハーネス(2)をABSハーネス沿いに左側のフレームレールへ向けて取り回します。

- d. ハーネス(2)を左側のフレームレール沿いにフロントオキシジェンセンサーコネクタへ向けて取り回します。
- e. センサーコネクタを接続します。
- f. 必要に応じてケーブルストラップを使って左側のフレームレールの内側にハーネスを固定します。

18. リアオキシジェンセンサー(短いハーネスリード) :

- a. リアオキシジェンセンサーコネクタハーネス(4)をクランクケース上部に沿って取り回します。
- b. センサーコネクタを接続します。
- c. 必要に応じてケーブルストラップでハーネスを固定します。



- 1. フロントオキシジェンハーネスコネクタ(グレーコネクタ)
- 2. フロントオキシジェンセンサーコネクタ(長いリード)
- 3. リアオキシジェンセンサーコネクタ(短いリード)
- 4. リアオキシジェンハーネスコネクタ
- 5. ATMモジュール
- 6. アースワイヤー
- 7. ABSハーネス

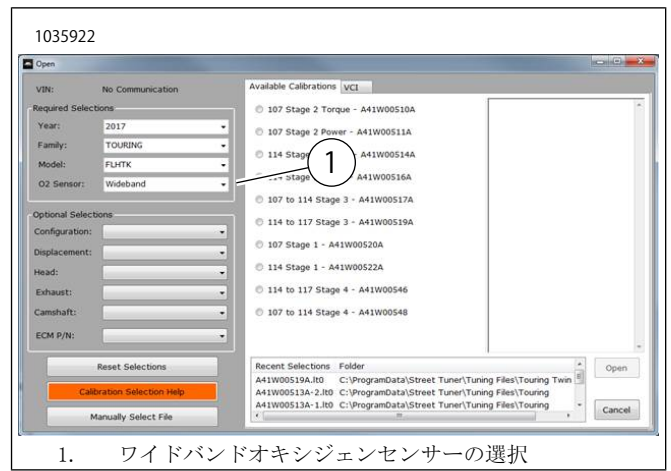
図50。ATMハーネスの取り回し(位置ホルダー)

19. ハーネスおよびコネクタは全て、熱くなる部分に来ないように必ず固定してください。

20. マイナスバッテリーケーブルを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

21. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

22. 左サイドカバーを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
23. メインヒューズを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。
24. 「図51」を参照してください。取り付け作業の仕上げに Screamin' Eagle Proストリートチューナーを使います。このキットを取り付けるときは、新しいECMキャリブレーションをダウンロードします。ダウンロードするキャリブレーションをScreamin' EagleProストリートチューナーで選択するときは、[オキシジェンセンサー]オプションのプルダウンメニューから[Wideband (1) (ワイドバンド(1))]を選択します。Screamin'EagleProストリートチューナーの詳細については、Screamin'EagleProのカタログをご覧になるか、またはハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にお問い合わせください。



1. ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

図51。ワイドバンドオキシジェンセンサーの選択

交換用パーツ

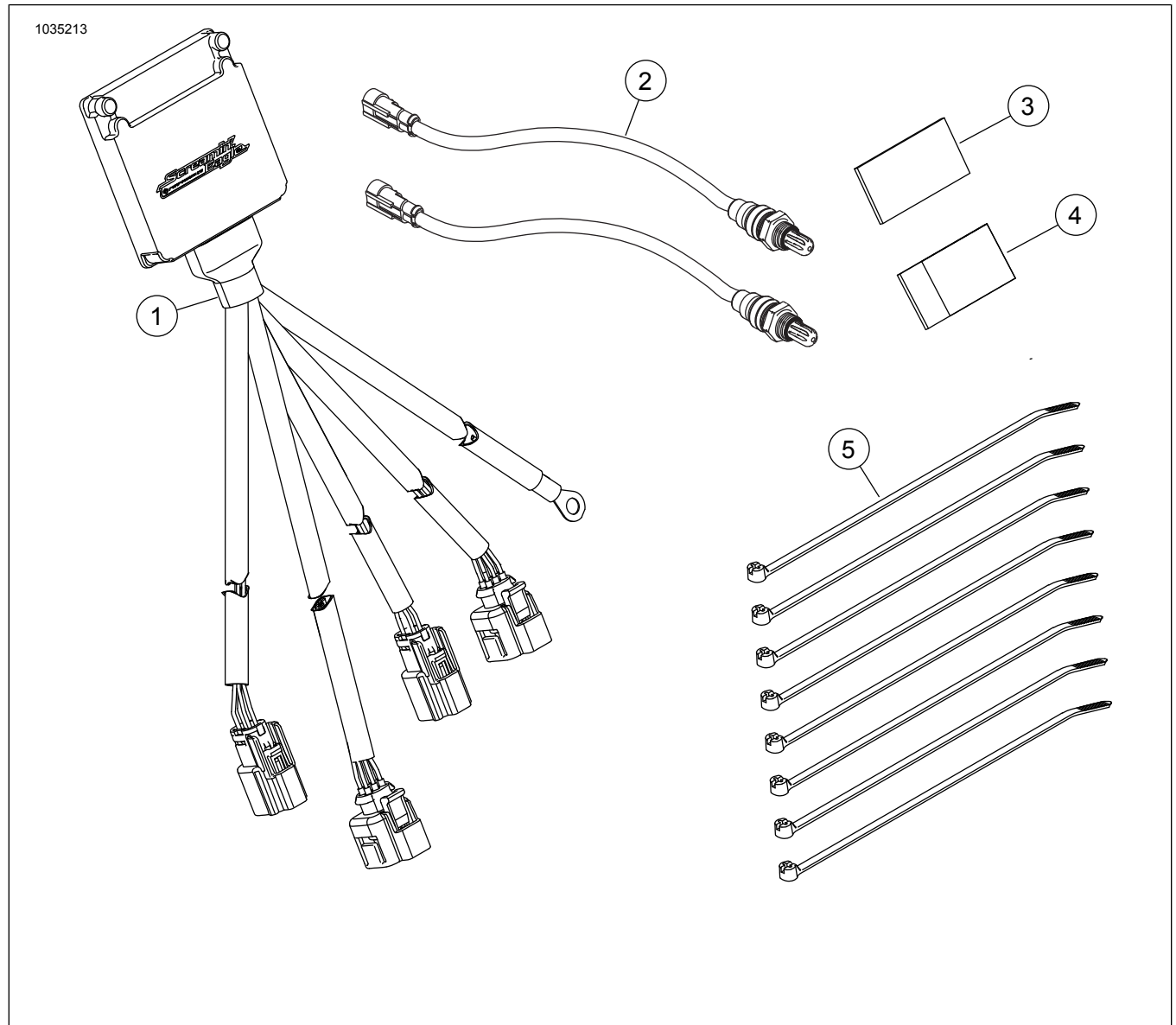


図52。キット内容: Smart Tune Proオートマチックチューニングモジュール(ATM)キット

表5。キット内容: Smart Tune Proオートマチックチューニングモジュール(ATM)キット

<input checked="" type="checkbox"/>	キットにすべての必需なものが入っていることを、車両にアイテムを取り付けたり、取り外したりする前に確認します。				
アイテム	数量	説明	部品番号	注記:	
<input type="checkbox"/>	1	1	ワイドバンドオキシジェン制御モジュールアッセンブリー	41000445	
<input type="checkbox"/>	2	2	オキシジェンセンサー、ワイドバンド	32700098	
<input type="checkbox"/>	3	1	CARBEO ラベル	別売りなし	
<input type="checkbox"/>	4	2	デュアルロックファスナー	別売りなし	
<input type="checkbox"/>	5	8	ケーブルストラップ	別売りなし	

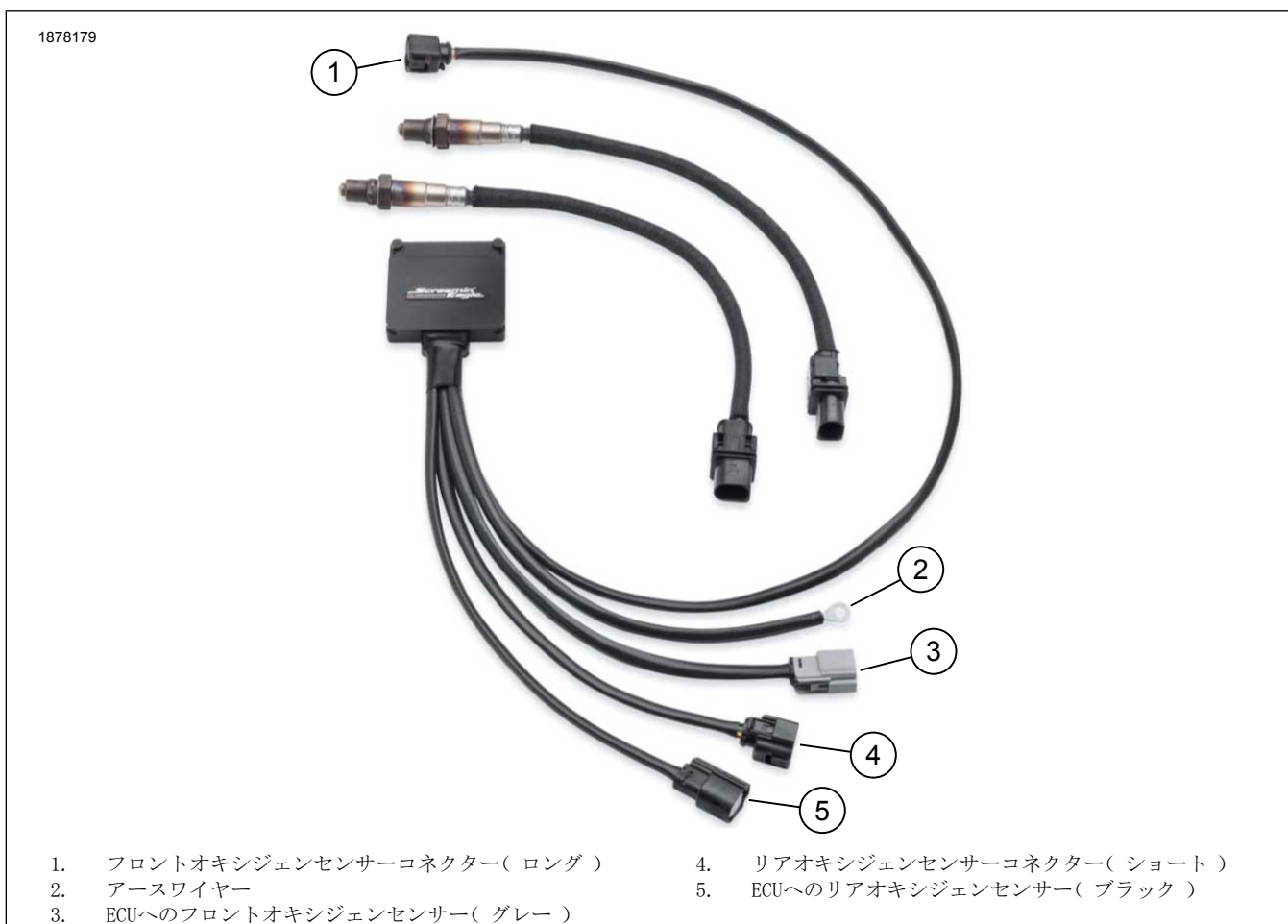


図53。定義済みワイヤーハーネスコネクター